

2016年5月16日  
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦  
担当ワーキンググループ主査 原嶋 洋平

タンザニア国 中央鉄道洪水対策事業  
(協力準備調査(有償))  
ドラフトファイナルレポートに対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・日時：2016年4月11日(月) 13:58～17:21
- ・場所：JICA本部(2階212会議室)
- ・ワーキンググループ委員：清水谷委員、早瀬委員、原嶋委員、米田委員
- ・議題：タンザニア国 中央鉄道洪水対策事業に係るドラフトファイナルレポートの助言案作成
- ・配布資料：1) 本事業 ドラフトファイナルレポート報告書  
2) 本事業 EIA 報告書  
3) 本事業 RAP 報告書  
4) 本事業 スコーピング案に対する助言への対応表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第69回委員会)

- ・日時：2016年5月16日(月) 14:29～17:24
- ・場所：市ヶ谷ビル(2階202AB会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全体事項**

1. 鉄道の洪水対策に限らず、地域住民のための洪水・干ばつ対策と自然環境保全のために、広域な流域レベルの総合的治水・利水計画が必要であることをタンザニア国水資源管理担当部局等に説明すること。
2. 本事業が気候変動に起因する降雨特性の変化にも対応するものであることの説明をFRに記述すること。

### **代替案の検討**

3. 代替案の比較に関して、社会配慮については文章で説明が加えられているが、環境配慮（伐採、切土や盛土の量、騒音・振動等）について文章の説明がない。環境配慮の比較結果も文章による説明をFRに記述すること。
4. 代替案の比較・選定プロセスにおいては、住民移転の可能性や鉄道運行の安全性等を踏まえて検討が行われたこと、またその検討内容をFRに記述すること。

### **環境配慮**

5. 本事業により水の流れが変わることによる生態系への影響の大小とその理由について、FRに記述すること。
6. 本事業のアクセス道路が供用後どのように管理されるかを確認し、FRに記述すること。
7. 本事業で必要とされる土石の採取場開発に関して、本事業のEIAとは別のEIAが実施される予定であることをFRに記述すること。
8. 河川水の濁度悪化は河川の自然条件によるとあるが、上流の土壌侵食による影響についてもFRに記述すること。
9. 本事業で砂防ソイルセメントの使用に伴い六価クロムが溶出する恐れがあるため、事前の試験で溶出の有無を確認するとともに、砂防ソイルセメントの強度発現を高めて、湧出を抑制する方法を採用することをFRに記述すること。

### **社会配慮**

10. 本事業によるHIV感染への影響と被影響村におけるHIV対策の現状についてFRに記述すること。

### **ステークホルダー協議・情報公開**

11. 本事業の第2回ステークホルダー会議の結果を不参加の住民にも周知することが合意されたとあるため、その周知の状況について確認し、FRに記述すること。

以 上